



ザンビア共和国 (Republic of Zambia)



- ザンビアへの援助総額は2014年度までに累計2,285億円。
- 鉱業の過度な依存から脱却し、裾野の広い持続的開発分野に対する取組を支援するため、「産業の活性化」(農業・製造業の生産性向上)、「経済活動を支える基礎インフラの整備・強化」、「持続的な経済活動を支える社会基盤の整備」(教育の質の向上、保健・給水衛生サービスへのアクセス向上支援、保健システム等)を中心に支援。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 75.3万平方キロメートル(日本の約2倍)
 - 人口: 1,621万人(2015年, 世銀)
 - 首都: ルサカ
 - 民族: 73部族(トンガ系, ニャンジャ系, ベンバ系)
 - 言語: 英語(公用語), ベンバ語, ニャンジャ語等
 - 宗教: 8割近くはキリスト教, その他イスラム教, ヒンドゥー教, 伝統宗教
 - 政体: 共和制
 - 議会: 一院制の国民議会(158議席, 任期5年)
※但し8席は大統領指名特別議席を含む。
 - GDP: 212億ドル(2015年, 世銀)
 - 一人あたりGDP: 1,308ドル(2015年, 世銀)
 - 経済成長率: 3.6%(2015年, 世銀)
 - 失業率: 7.4%(2014年, ザンビア中央統計局)
- ※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

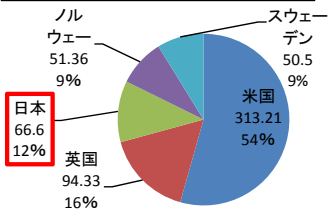
1964年	独立(旧宗主国英国)
1973年	第二共和制(一党制)
1990年	第三共和制(複数政党制移行)
1991年	チルバMMD党首大統領就任
2001年	ムワナワサ大統領就任(08年8月逝去)
2008年	バンダ大統領就任
2011年	サタ大統領就任(14年10月逝去)
2015年	ルング大統領就任(16年再選)

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	578.8億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	1,119.4億円 (2014年度末時点)
技術協力	586.7億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ1,393人 (2016年7月時点で71人)
シニア海外ボランティア	延べ74人 (2016年7月時点で13人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

ザンビアへの主要ODA供与国 (2013年実績, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からザンビアへの輸出	88.6億円 (2015年, 財務省貿易統計)
ザンビアから日本への輸出	55.8億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在ザンビア日系企業数	12社 (2015年10月時点, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ザンビアにおける在留邦人数	241人 (2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日ザンビア人数	174人 (2015年12月時点, 法務省在留外国人統計)
ザンビアから日本への留学生数	21名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)
日本からザンビアへの観光客数	7,539人 (2014年, JNTO統計)

日本とザンビア共和国との協力年表

年代	案件
1964年	ザンビア独立, 日本と国交樹立
1970年	在ザンビア日本大使館を開設 青年海外協力隊派遣取極締結 JICA協力隊調整事務所をルサカに開設 青年海外協力隊員6名を初めてザンビアに派遣
1972年	有償資金協力: 国家開発計画 (92億円) (ザンビアへの初の円借款)
1975年	駐日ザンビア大使館を開設
1987年	ルサカにJICA事務所を設置
2003年	ムワナワサ大統領訪日(TICAD III)
2005年	ムワナワサ大統領訪日(公式実務訪問賓客) 技術協力協定締結
2008年	ムワナワサ大統領訪日(TICAD IV)
2013年	サタ大統領訪日(TICAD V)
2016年	シアメ商業貿易産業省次官がTICAD VI(於: ナイロビ)に出席

ザンビアでは、農業、教育、経済インフラ等で協力活動を展開。



全人口の70%が農業に従事しているザンビアにおける、農民参加型の小規模灌漑施設を利用した灌漑農業を促進するための協力活動。



授業研究を通じて教員の能力向上を支援するプロジェクトで、次の研究授業の計画を話し合う教員たち。



日本の無償資金協力によって建設された、ザンビアとジンバブエの国境線となっているザンベジ川を横断するチルンド橋。